躾　～態度教育・心を育てる基礎～

２学期がスタート＆就学前の子ども達と向き合っていく上で再度、『躾』について見直していきたいと思います。

躾（家庭教育）の上に、学校教育や社会教育の効果があがってきます。

『躾』の意味や重要性を大切にしながら、活動に取り組んでいきたいと思います。

「挨拶」は、人と人との信頼関係を築く第一歩です。

立ち止まって、相手を見て、はっきりと挨拶できる子どもは、誰とでも関わることができます。

相手を思いやる気持ちなども芽生えてきます。

「返事」は、尊敬の第一歩。名前を呼ばれたら「ハイ！」と元気に返事をする。

そうすることで、呼んだ相手に対し、きちんと心が向き、相手も気持ち良く話すことができる。人を大切にし、尊敬する事につながります。

「履物をそろえる」ということは、心と物のけじめをつけることになります。

けじめを持てるようになると、「今、これしていいのかな？」と自分で考えます。

物事を丁寧に行う、物を大切にする気持ちも育ちます。

「姿勢」は、体の基盤。

正しい姿勢で立ち、正しい姿勢で座ることができると、集中力も高まり、話もしっかり聞けます。

姿勢を正すことで、心と体をコントロールし、健やかな心身を養います。

「食事のマナー」は、命への感謝。

食べ物を食することは、命を食するということです。

食べる前には手を洗い、「いただきます」と言って感謝する心を育てます。

食べ終えれば、「ごちそうさま」と言って歯磨きをする。健康への第一歩です。